

PAPER CRUFT

ペーパークラフトでつくる 海洋環境整備船

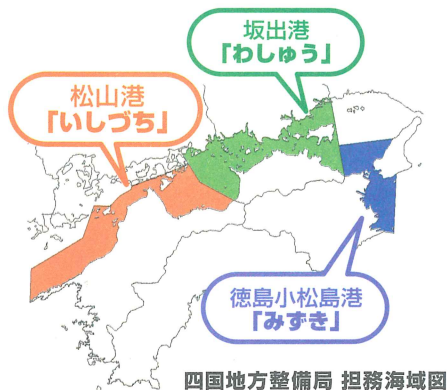
いしづち

海洋環境整備船はこんな活躍をしています!!

海はゴミや油によって汚されています。たとえ海に直接ゴミを捨てなくても、誰かが捨てたゴミが雨や風によって川に運ばれ、やがては大量のゴミとなって海に流れていくのです。

こうしたゴミは、船舶のスクルーに巻き付いたり、ジェットフォイル船の吸水口に詰まって故障や事故を引き起こします。ゴミは美しい海を汚し、海上交通の安全に悪影響を与えるだけでなく、海鳥や魚などの海の生物の生命も脅かすこととなります。

海洋環境整備船は海のゴミや油を回収し、海洋環境を改善するために活躍しています。現在四国地方整備局では、図のように瀬戸内海のそれぞれの海域で、「わしゅう」「いしづち」「みずき」が活躍しています。こうした海洋環境整備事業は、昭和49年から始まり、これまでに瀬戸内海全体で回収したゴミは、大型ダンブ約1万台分(約50,000m³)、現在も毎年大型ダンブ約1千台分(約5,000m³)のゴミを回収しています。



組み立て方

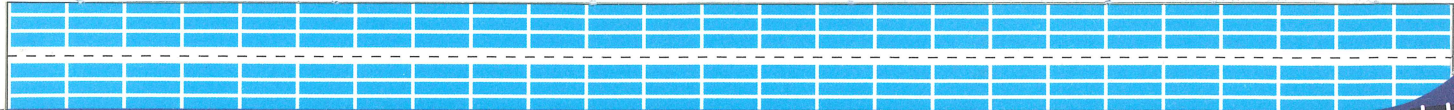
制作に必要なもの…カッターナイフ・のり(速乾性)・ヘラ

- 1 まず、土台A・Bを組み、Cをかぶせ土台を作ります。
- 2 土台中央の切り取った部分にコンテナEをさしこみます。コンテナでゴミをすくいますので、海につかるようにセットしましょう。これで土台は完成です。
- 3 次に1階Gと2階Hと2階Iを組み立てて、レーダーNとクレーン小Oを取りつけます。

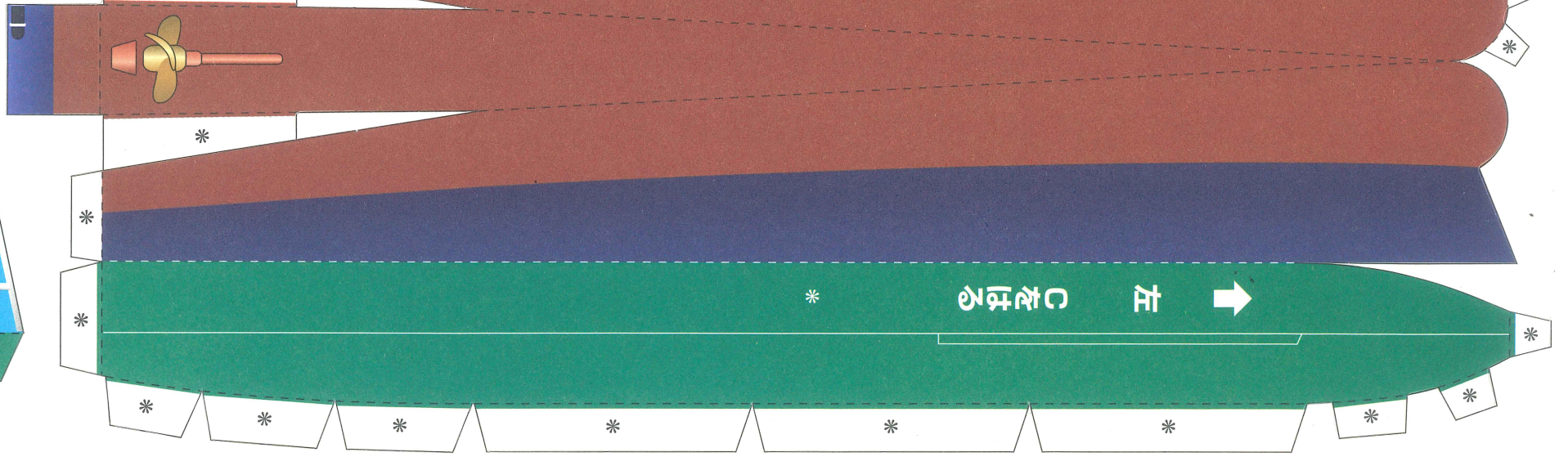
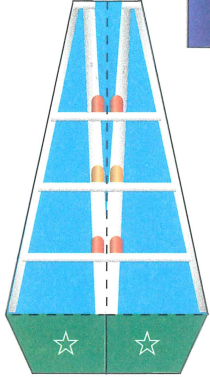
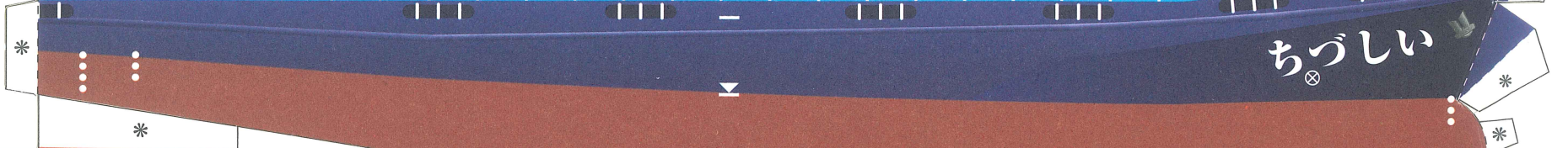
- 4 土台に部品J・Kを取りつけてから、③で組み立てた船の頭部を取りつけます。
- 5 クレーン、煙突、油回収装置をそれぞれの場所にはりつけます。
- 6 最後にコンテナクレーンPを2階Hの上にとりつけます。この時、クレーンの先がコンテナの中に入るようにします。これでいしづちの完成です。

※進行方向を上にするように船を真上から見て、左右の指示をしています。
※表がのりしろの場合*印、裏面にのりをつけるときは☆印です。
※進行方向はのりしろ部分に矢印で表現しています。

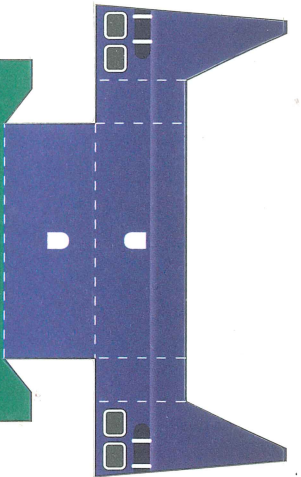
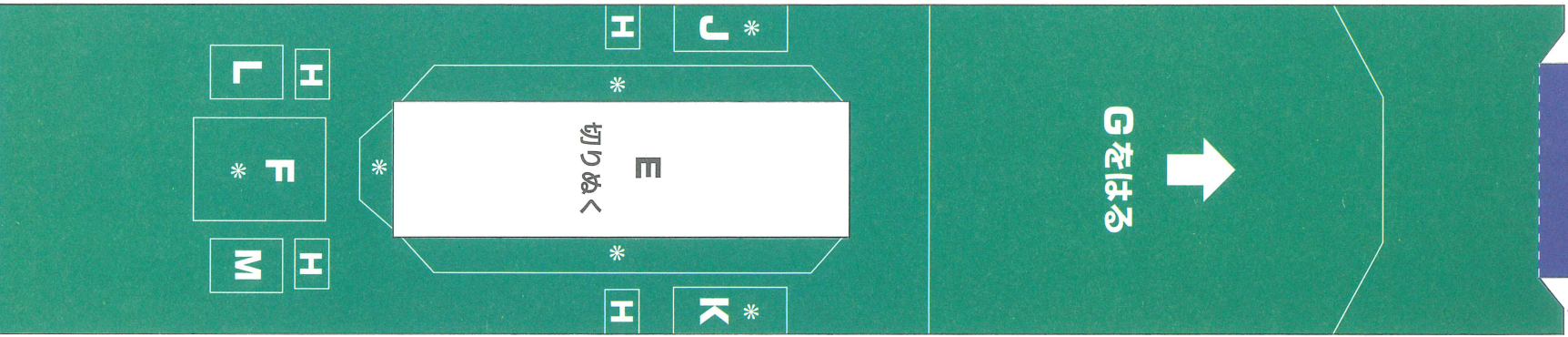
Ⓑ 土台・左



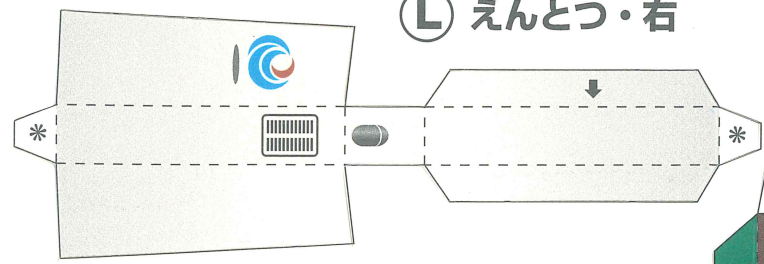
Ⓐ レーダー



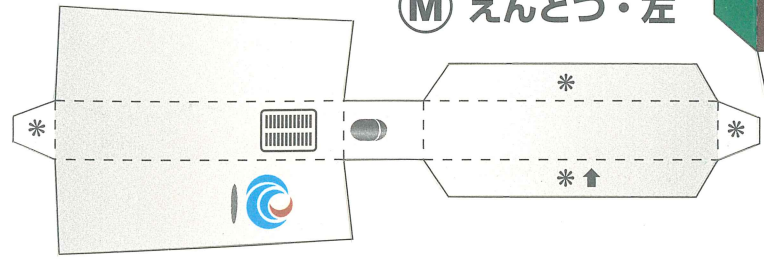
Ⓒ ABの上へ



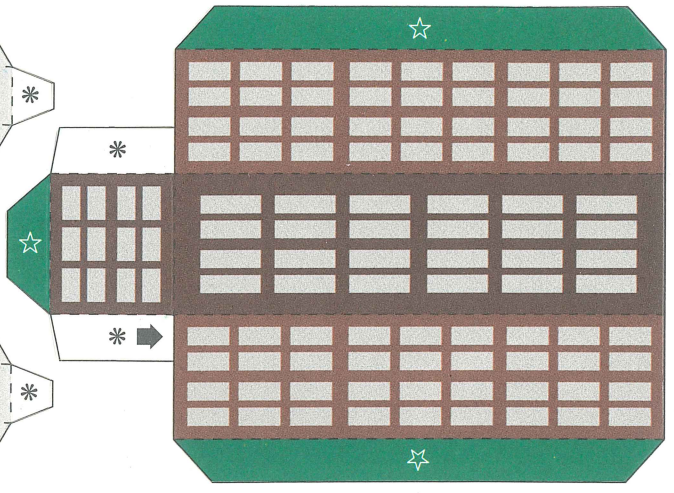
① えんかつ・右



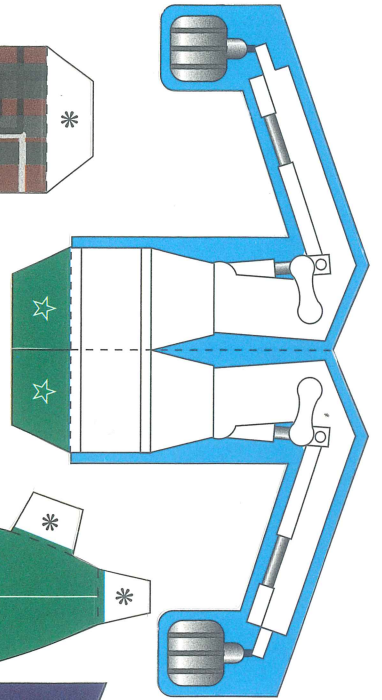
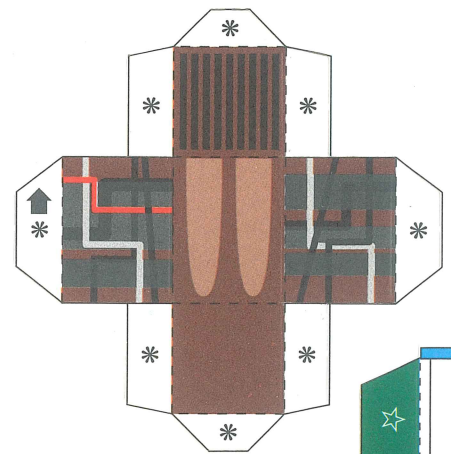
② えんかつ・左



③ コンテナ

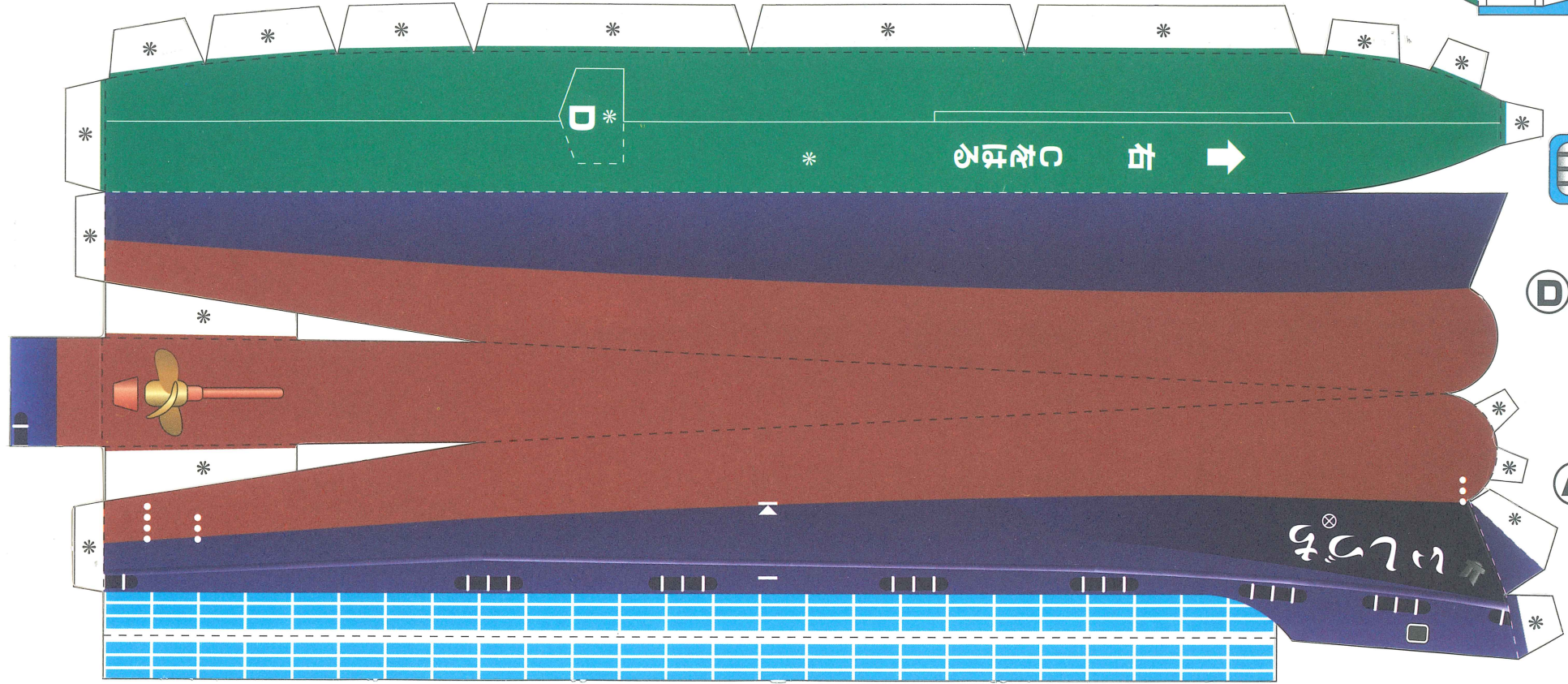


④ 油回収器

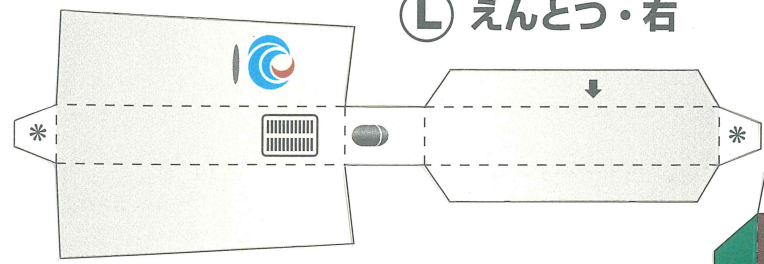


⑤ クレーン

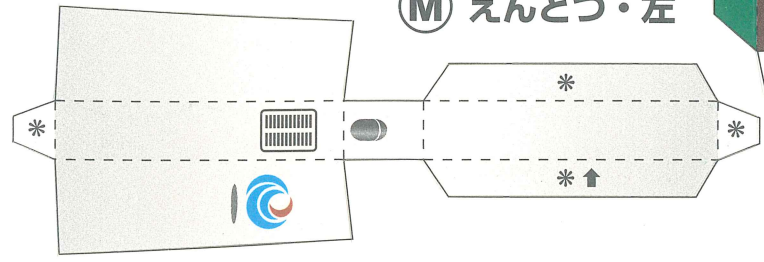
⑥ 土台・右



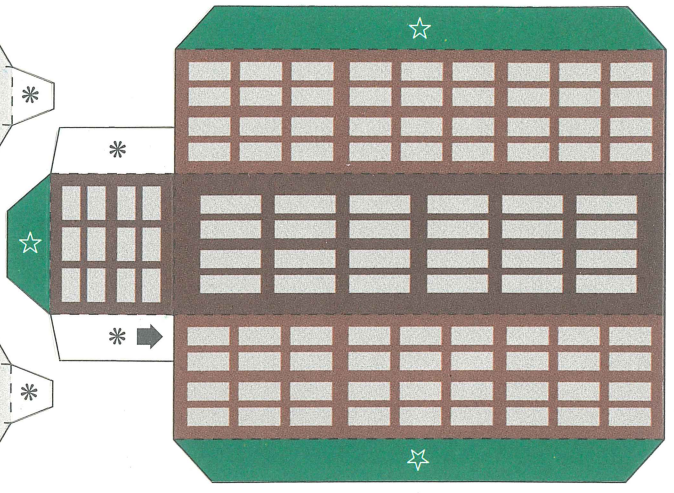
⑦ えんかつ・右



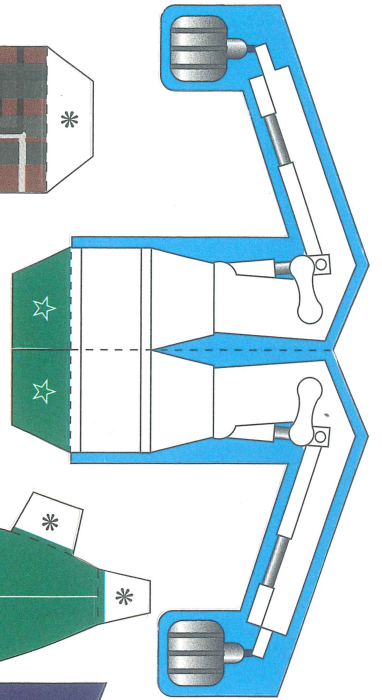
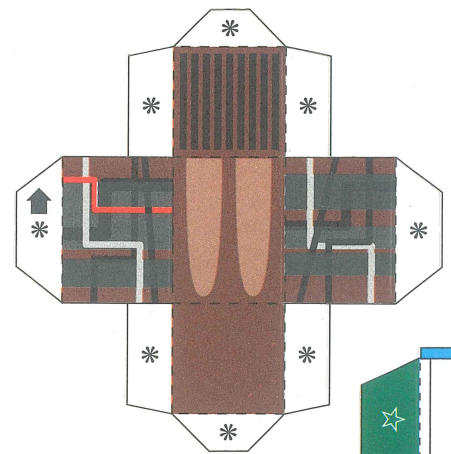
⑧ えんかつ・左



⑨ コンテナ

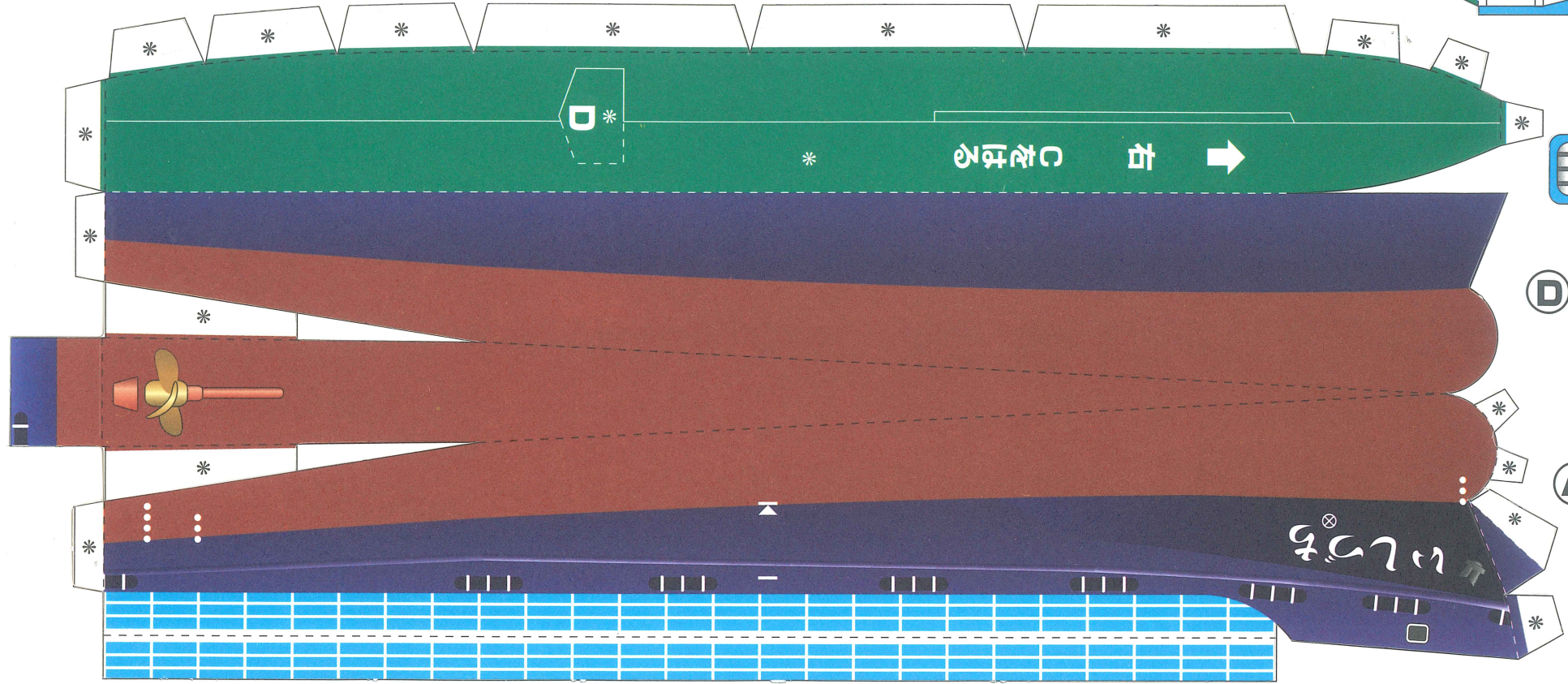


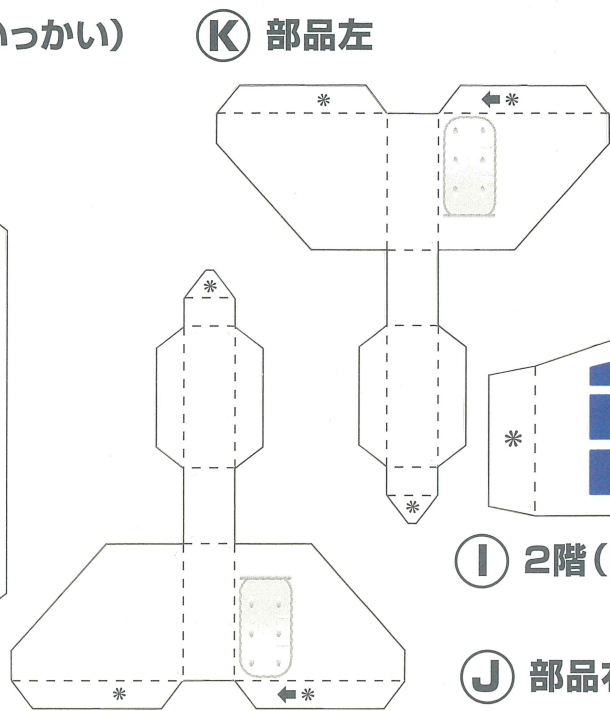
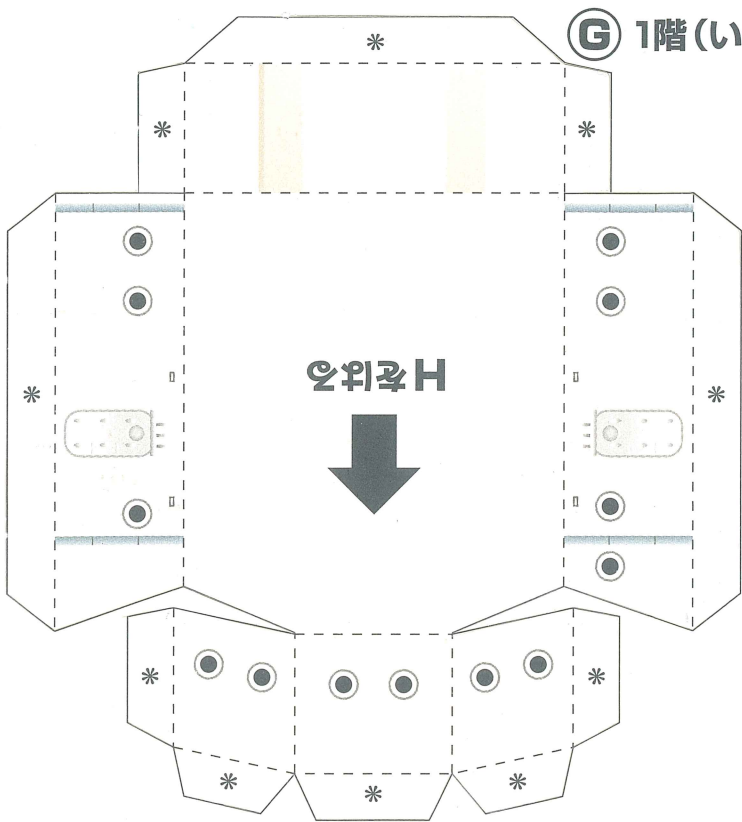
⑩ 油回収器



⑪ クレーン

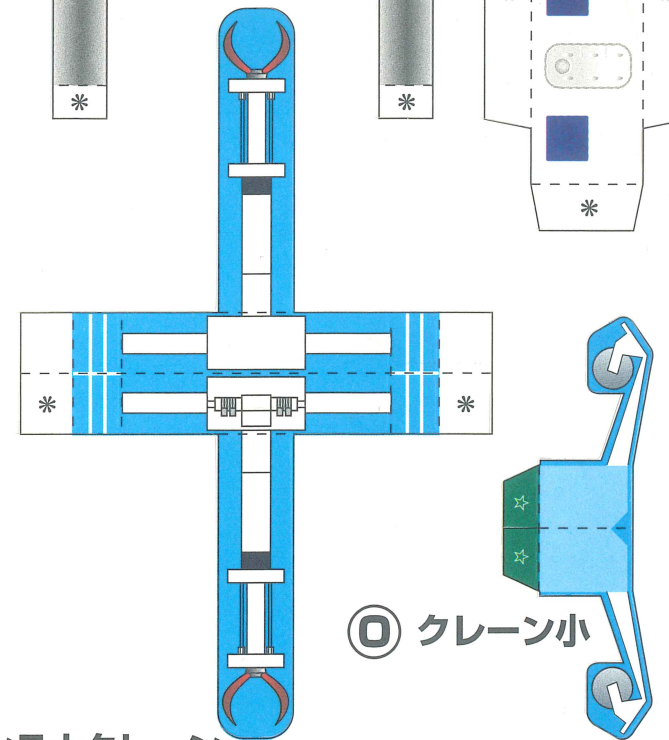
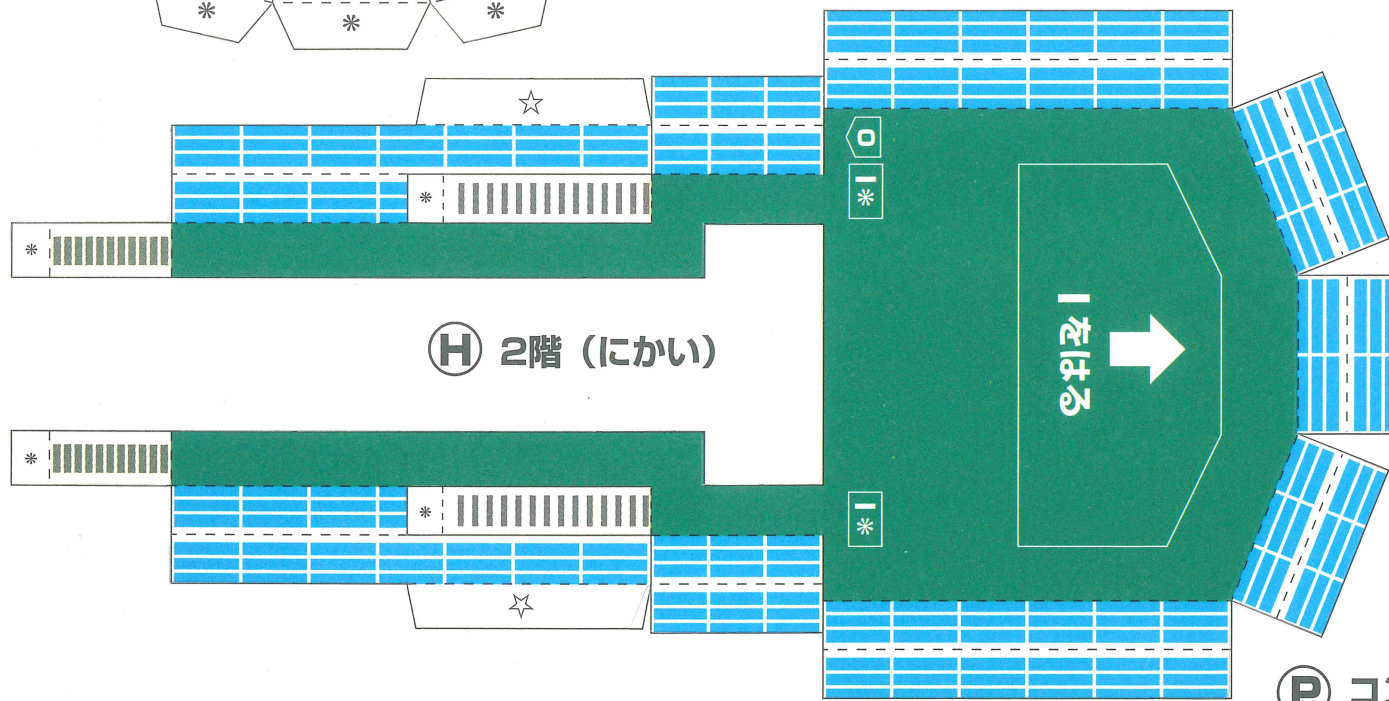
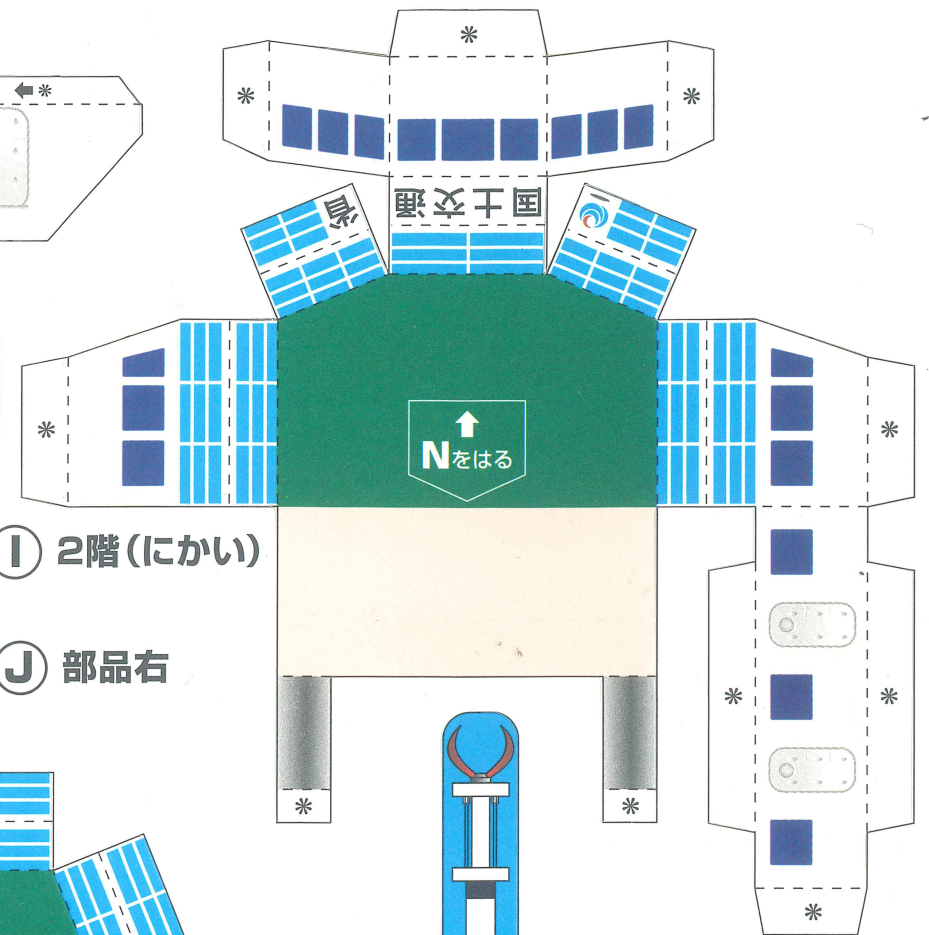
⑫ 土台・右





I 2階 (にかい)

J 部品右



P コンテナクレーン